

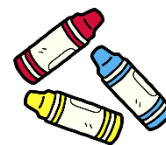
令和3年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 材料や用具の基本的な扱いや技法は、概ね身に付いている。
- ・ 表したいことやイメージを課題提示からすぐに思い描ける児童が多い。
- ・ 自他の作品に対して愛着や興味をもって接している。



(2) 課 題

- ・ 持ち物がそろわない、公共で使う材料や用具を乱雑に扱う児童が少数見られる。
- ・ 作品をよりよくするために試行錯誤を繰り返して深めることを、億劫に感じる児童が少数見られる。
- ・ 自他の作品から感じたことを言葉に表すための語彙力が足りない。



2 授業改善のポイント

・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 安全に正しく用具を扱えるよう、はさみや絵の具などの基本的な使い方と適量の指導を引き続き行う。	・ 楽しく発想できるよう、身近な材料や興味をもつことのできる題材を吟味し、自分の思いがもてるようにする。	・ 自分や友達作品のよさに気付けるよう、お互いの作品を見合う時間を確保する。

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 鋸や金槌、彫刻刀などの目新しい道具も正しく安全に扱えるよう段階的に指導する。	・ いろいろな材料や技法にも出合わせ、試したいことを思いつき失敗しても、それを生かせるような発想を促す。	・ 物語に浸りやすい中学年の特性を生かし、できた作品から言葉でも空想を広げ、自他の世界観に興味をもたせる。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 前学年までの材料や用具の体験を生かし、応用的に使いこなせるよう助言する。	・ 感情や内面のイメージなど抽象表現にも挑戦し、効果的な方法を考えたり、より良く深めたりする姿勢を奨励する。	・ 友達の作品や世界の芸術作品からも、良さや美しさを感じ取り、さらに自分の表現に還元できるようにする。